

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0202009

政策目標	5 ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・まちづくり町民委員会設置開催 ・町民等からの政策公募、審査 ・全町自治会長会議開催 ・地区別町政懇談会 ・審議会・委員等の委員公募 ・パブリックコメントの実施
基本施策	22 住民主体のまちづくりの推進	事業優先度	A	
単位施策	3 住民との協働体制の構築	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	まちづくり町民参画推進事業	見直し年度	平成24年度	
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	2 財務企画課	
事業主体	雄武町	関係課	1 総務課	
事業指標	参画手法		#N/A	
事業目標	6手法以上	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 町民意見を各種施策に反映する	関係例規・法令名	1 政策公募制度実施要綱、委員の公募に関する指針、パブリックコメント手続実施に係る指針	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	・まちづくり町民委員会設置開催 ・町民等からの政策公募、審査、政策反映 ・全町自治会長会議開催 ・地区別町政懇談会 ・審議会・委員等の委員公募 ・パブリックコメントの実施	・まちづくり町民委員会設置開催	・まちづくり町民委員会設置開催	・まちづくり町民委員会設置開催	・まちづくり町民委員会設置開催	・まちづくり町民委員会設置開催 ・町民等からの政策公募、審査 ・全町自治会長会議開催 ・地区別町政懇談会 ・審議会・委員等の公募 ・パブリックコメントの実施	
	事業費(千円)	0	0	0	0	0	
計画 事業費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他 一般財源	0					
実績 事業費	事業費(千円)	0	0	0	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債 その他 一般財源	0	0	0	0	0	
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果 C-継続/現状維持	※前年度評価結果 C-継続/現状維持	※前年度評価結果 C-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値	3回	3回	3回	3回	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		全体達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	事業進捗状況	-	-	-	-	☆☆☆☆	

事業名	まちづくり町民参画推進事業	評価者 管理職 職氏名	財務企画課長	佐々木 幸博
		評価者 作成者 職氏名	企画調整係長	大水 寛仁

平成24年度実施  
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町民等のまちづくりに対する参画手法	
【抱える課題やニーズは】	地方分権や地域の自主自立による地方自治を進めるにあたり、町民と行政の協働によるまちづくりの推進が求められている	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民がまちづくりに参画しやすい環境を構築し、多様なニーズに応じた行政運営を目指す	① 6手法以上(政策公募、自治会長会議、地区別町政懇談会、委員用の公募、パブリックコメント、まちづくり町民委員会等)	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	町民と行政が地域の課題を共通認識し、より質の高い、きめ細かな政策の立案・実行により、住みよさを実感できるまちづくりに資する		目標値	6手法以上
			実績値	5手法
			達成度	83.3%
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	町民等からの政策公募	実施要綱に基づく政策の公募及び審査(5件)		
	全町自治会長会議、地区別町政懇談会の開催	例年実施している全町自治会長会議のほか、地区別町政懇談会を新たに開始し、町内6地区にて町民と意見交換を行った		
	審議会委員の公募、パブリックコメント	第5期総合計画後期基本計画策定の際、策定審議会に公募委員が参加しワークショップ等を行ったほか、パブリックコメントを実施し11件の意見等が寄せられた		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	行政改革大綱や総合計画に位置付けられる「町民との協働によるまちづくり」を推進していく上で必要不可欠である
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	まちづくり町民委員会の設置には至らなかったが、平成24年度においては総合計画の策定審議会がこの機能を担った。その他参画手法についても計画どおり実施することができた
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業の推進は政策的経費をかけずに実施できるものであり、また、町行政を推進していく上で、町民等が直接参画するためのあらゆる手法を用意することにより、町民意見の反映を効率的・効果的に実施できた
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input type="checkbox"/>	人員削減
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

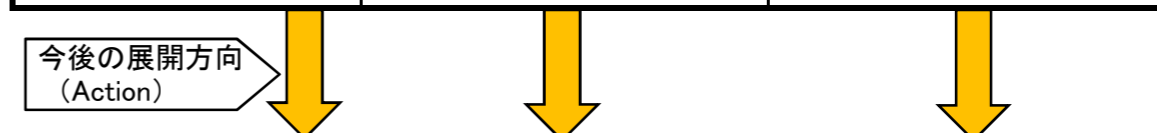
公平	判断の理由	全ての手法において、より多くの町民が直接意見できる機会を提供していることから、公平である
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
まちづくりに対する町民参画が図られ、今後も計画どおり進めることが適当である		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	今後も町民の参画手法を継続し、参加者・参加率等の向上を図っていく	

※展開方向の区分  
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 ○終了 ○休止 ○廃止